

令和3年度 就農相談スキル向上研修会を開催しました

佐久就農支援協議会では、7月14日（水）に佐久合同庁舎講堂で「令和3年度就農相談スキル向上研修会」を開催しました。これまで積極的に新規就農者の受入れを進めてきた中、体験や準備が不十分で就農してしまい就農後の経営安定が課題となっている状況が見受けられ、入口としての相談が重要となっています。また、新型コロナウイルス感染症対策をきっかけとしたオンラインによる就農相談に対応できるように就農相談対応のスキル向上を図ることを目的として開催しました。

研修会では、就農相談前に準備しておく情報等の整理と相談～就農までの進め方について関係機関が連携できるよう手順を共有しました。

また、就農して経営を安定することは簡単なことでは無いため、必ず相談者との面談を実施し、相談者自らが農業の厳しさもわかった上で就農を決断するように相談者の色々なパターンごとに、ポイントを説明しました。

オンライン形式での就農相談に対応できるように、オンライン模擬就農相談を4パターンで実演を行いました。会場のスクリーンに映して、対面ではなく画面上での対話の雰囲気を感じていただくとともに、相談対応の様子から相談カードへの基本情報の記録や対応の良かった点、改善点など感じたことを記入し、実際の相談対応にすぐ活用できるようにしてもらいました。

最後に認定新規就農者の認定について申請された青年等就農計画のチェックポイントなどの説明を行いました。

その後の質疑応答では、それぞれの立場からこれまで進めてきた就農相談活動や新規就農の地域差の現状、今回の研修会で得られた相談対応方法への感想が聞かれました。

これから開催が予定されているオンライン形式での就農相談会や個別相談に今回の研修が活用され、就農定着を見据えた相談対応が図られるよう関係機関とともに支援を進めてまいります。



就農相談スキル向上研修会会場



オンラインを活用した模擬就農相談の様子

